

施策名：多様で厚みのある産業集積の深化

事業名	担当課・室名	ページ
食品産業需要適応支援事業	工業振興課	1 / 3
コンビナート企業国際競争力強化対策事業	工業振興課	1 / 3
おおいたLSIクラスター構想推進事業	工業振興課	1 / 3
自動車関連産業企業力向上事業	工業振興課	2 / 3
東九州メディカルバレー構想拠点連携促進事業	新産業振興室	2 / 3
医療機器産業参入加速化事業	新産業振興室	2 / 3
エネルギー関連産業成長促進事業	新産業振興室	3 / 3

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-2-(5)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
1	食品産業需要適応支援事業 (R2 ~ R4) 工業振興課 食品産業のマーケットニーズ適応を促進するため、おおいた食品産業企業会等と連携し、大規模展示会出展やデジタルマーケティングによる販路開拓、マーケットインに基づいた商品開発等の取組を支援する。	①食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業 海外輸出に向けた施設整備・認証取得等に対する助成(3社) ②販路獲得支援 ・HACCPに基づく衛生管理についてワークショップ、検査を実施し適合証明書を発行 ・アドバイザーによるハラル食品認証取得支援 ・大規模展示会出展に対する助成(出展:29社) ・デジタルマーケティングによるビジネスマッチング機会の創出 ③商品開発支援 ・マーケットインに基づいた商品改良支援補助金(9社) ・食品オープンラボの運営 ④マッチング コーディネーターによるマッチング(訪問:117社)	① 62,719 ③ 4,937	デジタルマーケティングによるマッチング成立件数 [件]	目標値	10	10	10	A
			② 15,043 ④ 4,208		実績値	34	28	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 126,119 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 88,838 (62,719) (77,762)	主な活動指標と達成率 コーディネーターの企業訪問数 [のべ社]	目標値 100 実績値 117 達成率 117.0%	達成率 340.0% 280.0%	—				
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県内食品製造事業者の販路開拓を支援するため、年度前半は企業会ホームページ「おおいた食のたすき」のコンテンツ拡充やWeb広告等による認知度向上に努めるとともに、年度後半は大規模展示会への積極的な出展により、多くのビジネスマッチング機会を創出することができた。 引き続き、コーディネーターによるマッチングを推進するとともに、デジタルマーケティングによる販路維持・開拓を強化する。	企業会HPの記事コンテンツ更新件数 [件]	目標値 12 実績値 22 達成率 183.3%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
2	コンビナート企業国際競争力強化対策事業 (H23 ~) 工業振興課 コンビナート立地企業の国際競争力の強化に向けて、コンビナート企業間の連携した競争力強化の取組を推進するため、大分コンビナート企業協議会の取組を支援する。	①コンビナート立地企業の競争力強化に向けた取組 ・大分コンビナート企業協議会の競争力強化に関する取組についての活動方針策定 ・協議会の部会・各分科会での競争力強化に関する取組の検討、実施 ・人材育成講座等の開催によるコンビナート立地企業間の連携推進 ・地場企業とコンビナート立地企業とのマッチング、共同開発支援 ・先進地域との意見交換による情報収集	① 2,355 ③	連携案件(事業等)実施件数及び産産交流マッチング等件数 [件]	目標値	4	4	4	A
			②		④	実績値	5	6	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 2,689 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 2,355 (0)	主な活動指標と達成率 部会・分科会開催数 [回]	目標値 10 実績値 21 達成率 210.0%	達成率 125.0% 150.0%	—				
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大分コンビナート企業協議会の4つの分科会(ユーティリティ、物流、人材育成、規制緩和)と令和元年に立ち上げたPT(スマート保安・IoT推進プロジェクトチーム)の活動を中心に、企業間連携の取組が推進されている。 引き続き、協議会の取組を推進し、コンビナート企業の国際競争力の強化に努める。	産産交流会・研修会等の開催回数 [回]	目標値 3 実績値 5 達成率 166.7%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
3	おおいたLSIクラスター構想推進事業 (H18 ~ R6) 工業振興課 「おおいたLSIクラスター構想」推進のため、県内半導体関連産業の競争力強化に努める。特に「未来を拓く産業モデルの創出」をスローガンに、次世代のリーダーを育てる経営者育成、技術力の向上、販路拡大に注力する。	①グローバルマーケティング事業(販路開拓支援) 国内外の展示会・商談会等の販路開拓支援 ・海外(台湾)の団体との商談会等の開催(2回) ・大型展示会への九州合同出展(2回) ・新規取引先を拡大するための取組に対する助成 ②グローバルイノベーション事業(技術力向上支援) ・新分野進出、トップシェア獲得を狙う研究開発に対する助成(5件) ・半導体関連セミナーの開催(7回) ・企業と学生との共同研究に対する支援 ③グローバルネットワーク事業(経営者視点での支援) トップセミナー・フォーラム開催による情報提供	① 11,526 ③ 2,648	事業化件数(※) [件]	目標値	21	21	—	A
			② 11,200 ④		実績値	14	22	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 28,331 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 28,075 (0)	主な活動指標と達成率 展示商談会等件数 [件]	目標値 11 実績値 13 達成率 118.2%	達成率 66.7% 104.8%	—				
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍で活動が制限される中、マッチング強化とフォローアップにより、事業化件数は22件(内訳:研究開発での事業化件数16件、販路開拓成約数6件)と目標を達成できた。令和4年度は新たに長期セミナーによる事業創出支援や、大手メーカーとのマッチング、九州半導体人材育成等コンソーシアム及び国内他地域とのビジネス交流などに取り組み、事業化件数と新規取引件数の増を目指す。 (※) 令和4年度の成果指標及び目標値 研究開発による事業化件数 7[件]	研究開発件数 [件]	目標値 4 実績値 5 達成率 125.0%						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-2-(5)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
4	自動車関連産業企業力向上事業 (H18～R6) 工業振興課 自動車関連産業の集積を図るため、大分県自動車関連企業会を母体に、企業の技術力向上や取引機会の拡大等の取組を支援する。また、企業の新規参入のため、大分県産業創造機構に設置したチームに係る経費を助成する。	①自動車関連産業新規参入促進事業 大分県産業創造機構に設置した「自動車関連産業支援プロジェクトチーム」による、新規参入、取引拡大のためのマッチング等を実施 ②大分県自動車関連企業会を通じた支援 ・金型補修技能講習：5社6名修了 ・会員及び県内外企業を対象とした全体会・交流会：1回、58社92名(事務局除く) ・電動化セミナー：1回、14社17名 ・次世代自動車関連産業研究会：5回、8社11名 ・次世代自動車関連産業参入補助金：交付1社 ・日本語教育支援事業費補助金：交付1社 ・現場改善セミナー：5回、延べ56社92名 ・九州自動車部品現調化促進商談会出展助成：4社	① 14,477 ③	自動車関連で継続した取引のある企業会員数 [社]	目標値	84	86	88	A
			② 13,119 ④		実績値	84	86	—	
			主な活動指標と達成率	展示商談会への参加企業数	目標値 30 実績値 8 達成率 26.7%	[社]	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 取引のあっせんや地道な人材育成等により、取引の着実な増加と製造現場力向上が進んでいる。 令和3年度は商談会参加企業数の減少や金型技術者育成講座の一部中止など、新型コロナウイルスの影響があったものの、Web配信に変更したセミナーや研究会では、遠方の会員の参加が多く見られるなど、企業の技術力向上を図ることができた。 引き続き、進行する自動車の電動化に対応しようとする企業の支援及び生産性向上とニーズに応じた人材育成・確保の取組を進めていく。		
			金型技術者育成講座受講者数(修了者数)	目標値 20 実績値 6 達成率 30.0%	[人]				
予算額 (うち翌年度繰越額) 29,080 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 28,533 (0)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
5	東九州メディカルバレー構想拠点連携促進事業 (R3～R5) 新産業振興室 県内の医療関連産業の集積促進と地域経済の活性化を図るため、県内企業による医療関連機器開発や海外展開に対し支援する。	①大分大学と連携した海外人材育成・医療機器開発拠点の深化 ・タイの医療従事者に向けた研修・セミナーの実施 ・臨床現場でのニーズ把握や、機器の試作開発 ②医療関連機器の海外販路拡大 ASEAN諸国への働きかけによる、産学官で連携した日本式医療システムの海外普及 ③東九州メディカルバレー構想の推進 地域活性化総合特区に関連した政府との調整、構想推進会議の運営	① 6,000 ③ 215	医療関連機器の市場化件数 [件]	目標値		3	3	A
			② 1,182 ④		実績値		4	—	
			主な活動指標と達成率	臨床医工学センターを介した講師の派遣回数	目標値 2 実績値 3 達成率 150.0%	[回]	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 医療関連機器の開発については、大分大学医学部附属臨床医工学センターと連携し、医療従事者等のニーズを捉えた開発を支援したことで、市場化件数は目標値を上回った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外における現地でのPR活動は実施できなかったが、Webで開催するなど工夫して実施した。 令和4年度からは、地域活性化総合特別区域計画の第3期計画が始動するが、これまでに築いたネットワークを活かしながら、医療関連機器開発等を更に推進していく。		
			海外の医療関係者等への日本式医療システムのPR回数	目標値 2 実績値 2 達成率 100.0%	[回]				
予算額 (うち翌年度繰越額) 7,397 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 7,397 (7,397)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
6	医療機器産業参入加速化事業 (H27～R6) 新産業振興室 東九州メディカルバレー構想に基づき、医療関連機器産業の拠点化を図るため、大分県医療ロボット・機器産業協議会会員企業に対し、機器開発等を支援する。	①大分県医療ロボット・機器産業協議会の運営 (1)新規参入支援 ・医療関連産業参入促進セミナーの開催(4回、参加者415人) ・県外医療機器メーカーとの商談会の開催(2回、参加企業12社) (2)機器開発支援 ・県内企業が行う臨床ニーズに応じた試作品開発経費に対して助成(3件) ・県内企業が行う実用化に向けた医療機器開発経費に対して助成(5件) (3)販路開拓支援 ・県内企業の新製品等について医療等現場への導入費を補助(17施設) ・展示会への共同出展、海外展開支援 など (4)医療関連機器開発イノベーションプログラム研修講座、ワークショップ等の開催	① 72,613 ③	医療機器製造業登録事業所・製造販売許可業者数 [累計：件]	目標値	33	34	36	D
			②		④	実績値	28	26	
			主な活動指標と達成率	研究開発補助支援企業数	目標値 3 実績値 5 達成率 166.7%	[社]	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県内企業による医療関連機器の開発、開発機器の展示会への共同出展や、医療機関・介護施設向けの機器導入補助等、販路拡大を支援した。また、5月には県産医療関連機器の常設展示・交流スペース「メディバレーおおいた」の運用を開始した。 企業の経営効率化の影響などにより登録件数が減少したが、引き続き大分大学医学部附属臨床医工学センターや医療・看護・介護・福祉従事者と企業との連携を支援し、市場を見据えた機器開発・販路拡大の支援に努める。		
			医療機器メーカーとのマッチング会の開催回数	目標値 2 実績値 2 達成率 100.0%	[回]				
予算額 (うち翌年度繰越額) 84,681 (12,068) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 72,613 (32,745) (72,613)									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-2-(5)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
7	エネルギー関連産業成長促進事業 (H30 ~ R6) 新産業振興室 市場の成長が期待されるエネルギー産業を育成するため、本県の強みを活かしたエネルギー関連の研究開発等を支援する。	①大分県エネルギー産業企業会の運営 ・水素関連産業の事業化支援やスマートコミュニティ形成等エコエネルギーに関するチャレンジを支援（5件） ・水素透過金属膜を活用した大分県版水素サプライチェーンの実証 ・会員企業の展示会出展を支援（3社） ・新エネ・省エネコーディネーターによる各種相談・サポート（147件）	① 95,104 ③	事業化件数（研究開発金銭的成果件数、販路開拓成約件数） [件]	目標値	15	15	15	A	
			②		④	実績値	14	15		—
				主な活動指標と達成率		達成率	93.3%	100.0%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 98,185 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) (44,133) (90,630)		事業採択件数 [件]		目標値 4 実績値 5 達成率 125.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県内企業による水素関連産業の事業化や、スマートコミュニティの形成推進などの成果が得られた。また、県内企業による再エネ分野に関する販路開拓のため展示会への出展も実施した。今後は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県内での水素サプライチェーンの構築に向けた水素関連産業のさらなる事業化を推進するとともに、エネルギーを活用した地域のスマートコミュニティ形成等地域課題の解決や地方創生につながる取組を支援していく。				
			展示会出展企業社数 [社]		目標値 3 実績値 3 達成率 100.0%					